

令和7年度 第73回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

本校通信制の課程3年次の対馬恵子さんが、10月に行われた県大会で優勝し、11月16日(日)に東京六本木ヒルズのハリウッドビューティープラザにおいて開催された全国大会に出場しました。

参加生徒は60名で、午前中の予選を見事通過して午後の本選に進みました。結果は、石澤奨学会賞を受賞しました。応援に駆け付けた校長先生、担任の田中先生によると、本選ではほとんど原稿を見ずに自分の思いを聴衆の前で伝えていたようです。

対馬さんは、「おかげさまで、全国大会の舞台に立つという、とても貴重な体験ができました。本番では、校内大会を共にした鳥村さんや福士さん、館ヶ沢さんと同じ会場にいる思いで発表に臨んだので、絶対に予選を通過しようとの決意が大きかったです。会場では、他の登壇者とお互いに励まし合うこともでき、中には私よりはるかに年長の方もたくさんいたので、37歳でも自分はまだまだ若造だと痛感しました。また、田中先生がいてくれたことはとても心強かったです。予選も本選も、先生に聞いてほしい、先生へ届けとの思いで発表したので、不安なくリラックスして臨めました。校内大会のときから先生が寄り添ってくれたおかげで勝ち取れた、全国入賞という結果だと思います。そして、今も手に残る賞状の重みこそ、多くの人の応援やサポートを受けたことの証だと思います。私に自信をくれた田中先生、おめでとうの言葉をくれた友人たちや先生方、応援してくれたすべての人へ改めてお礼を伝えたいです。本当にありがとうございました！」と述べていました。今回の大会を通して今後の高校生活にさらに意欲的に取り組もうとしている姿が印象的でした。